むくげ通信 304 号 2021. 1. 31

歌・ノレ・노래 １７８

『正月の雪よ 降れ』

山根 俊郎

お詫び:連載していた『畑に 行こう』(下)は、都合により掲載中止します。すみません。

今回は、北朝鮮の正月のテーマソングである『正月の雪よ 降れ』(설눈아 내려라・ソルヌナネリョラ) を紹介します。

♪つららが下がる軒先に　白いカササギが鳴いて
新年のこの朝に　歌を歌ってくれるよ
＊繰り返し
正月の雪よ 降れ　もっと降れ
山にも野にも 白く
太陽の祝福を受けた　三千里の山河に
もっと　こんこんと降れ

新年を迎えて、吉鳥の中の吉鳥である白いカササギ（韓国の報道によれば、５万匹に１匹の出現率。色素が抜けるアルビノ病にかかっている）が鳴き、雪がこんこんと降れば、めでたいという内容です。

昔は北朝鮮では、正月を陽暦の１月１日で祝っていましたが、1986 年から陰暦の１月１日ソル（설）を祝うように変更しました。しかし、陽暦１月１日を祝う気持ちは今も強いようです。

この歌は、朝鮮大衆歌謡の父である故李鍾旿(ﾘ･ｼﾞｮﾝｵ 리종오 1943.11.7-2016.11.8)が作詞・作曲をしました。 李鍾旿は、ポチョンボ電子楽団副団長兼作曲家として『口笛』(ﾌｨﾊﾟﾗﾑ、휘파람・趙基天詞・全惠英唄 1990 年）や『私の国が一番好き』(ﾈﾅﾗ ﾁｪｰｲﾙﾛ ﾁｮｱ、내 나라 제일로 좋아・崔俊景詞・李京淑唄 1991 年）を始め多くのヒット曲を作曲しました。

この歌が最初に歌われたのは、2013 年１月１日に柳京 鄭周永体育館で開催されたガールグループであるモランボン楽団の「2013 新年慶祝公演」の時でした。舞台の両脇に雪だるまが置かれて華やかな演出がされていました。

この正月公演の演目は、第１部は 2011 年 12 月 17 日に死去した金正日総書記の称賛歌謡、第２部ではトルコ行進曲やロミオとジュリエットなど世界の名曲演奏の連曲(メドレー)でした。モランボン楽団のオリジナル曲が、まだ少ない時でした。軽快なメロディーの『正月の雪よ 降れ』は序曲（オープニング）で歌われ、終曲（ﾌｨﾅｰﾚ）でも歌われて正月ムードを盛り上げました。

モランボン楽団は、2012 年、金正恩時代になり、金正恩が肝いりで育てた女性ばかりの楽団です。2012 年７月６日万寿台芸術劇場での「示範公演」（ｼﾎﾞﾑ ｺﾝﾖﾝ＝初公演）で“仇敵 アメリカ帝国主義の退廃的な楽曲”を演奏して世界中をびっくりさせました。

このグループは、第１バイオリン奏者 鮮于香姫（当て字。ｿﾇ ﾋｬﾝﾋ）の電子バイオリンから繰り出す強烈なビートが特徴です。（何故か彼女は 2014.6-2017.5 まで３年間離脱。留学説あり）

この正月公演の『正月の雪よ 降れ』の映像を確認するとパフォーマンス４分 37 秒の内、前奏・演奏部分が３分８秒も占めています。後半にチョコッと１分 29 秒だけ歌っている印象です。バイオリンなどの演奏技術を際立させるために軽音楽（歌唱がない演奏。韓国でもそう呼ぶ）かな？と思うほど演奏部分が長く、歌はとても短いです。そのためにモランボン楽団の演奏のために作られた新曲では？と思われたのでした。

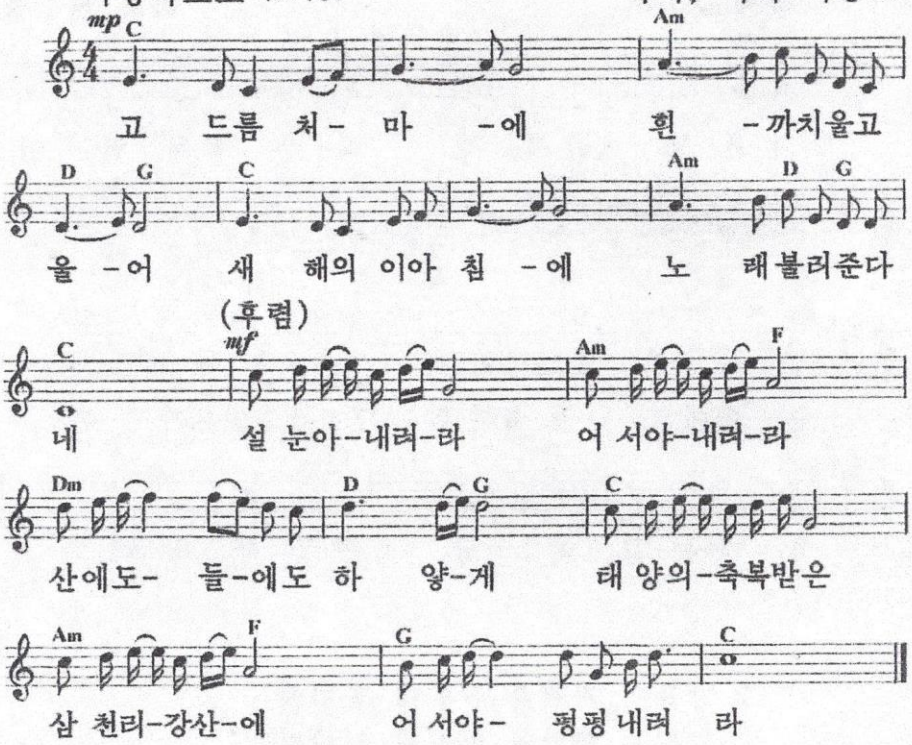
2012～2014 年の３年間の新曲楽譜を収録した「新曲総合本/새노래 종합본 29」(2015 年 文学芸術出版社発行）にこの歌は「2013 年に発表された新曲」と掲載されています。

しかし、69 歳のトシちゃんは、この歌が 1991 年に創作されていたことを知っていました。

「李鍾旿作曲集」（2014 年 文学芸術出版社発行）の巻末の「創作目録」（1984 年～2009 年の創作分）には、「『正月の雪よ 降れ』-1991 年」と明記されているのです。

설눈아 내려라

서정적으로 (♩=70)　　작사, 작곡 리종오



고드름처마에 흰까치 울고울어
새해의 이 아침에 노래 불러준다네
(후렴)
설눈아 내려라 어서야 내려라
산에도 들에도 하얗게
태양의 축복받은 삼천리강산에
어서야 펑펑 내려라

「新曲総合本/새노래종합본 29」（2015 年文学芸術出版社発行）P88 から引用。

ひょっとしたら李鍾旿は、童謡として創作したのかもしれません。小品のためポチョンボに歌わせずにお蔵入りしていたのでしょうか？

その後、この歌は、各音楽団体の正月公演には、必ず演奏されるようになりました。

2016 年１月１日ワンジェサン芸術団（所属の）青峰（ﾁｮﾝﾎﾞﾝ）楽団の「2016 新年慶祝音楽会」（人民文化宮殿で開催）でも『正月の雪よ 降れ』は、序曲と終曲で披露されました。

NK-POP を引っ張ったモランボン楽団は 2018 年１月１日「2018 新年慶祝公演」を柳京 鄭周永体育館で功勲国家合唱団と合同で開催しました。この公演では功勲国家合唱団の軍服・帽子まで白色だったのが印象的でした。勿論、序曲、終曲とも『正月の雪よ 降れ』でした。演目は、『社会主義 前進歌』（ｻﾌｪｼﾞｭｳｨ ﾁｮﾝｼﾞﾝｶ 2017 年 李志成詞・金雲龍曲）、『海の満豊歌』（ﾊﾟﾀﾞ ﾏﾝﾌﾟﾝｶ/民謡風 2014 年 車浩根詞・金海成曲・金雪美唄）などモランボン楽団のヒット曲や民謡が多く歌われました。功勲国家合唱団は、世界の名曲を連曲で演奏しました。

この１月に突然、金正恩委員長は平和攻勢を仕掛けます。平昌（ﾋﾟｮﾝﾁｬﾝ）オリンピック祝賀のため新たに三池淵（ｻﾑｼﾞｮﾝ）管弦楽団（団長：玄松月/ﾋｮﾝ・ｿﾝｳｫﾙ）を組織して 2 月８日江陵（ｶﾝﾇﾝ）、２月 11 日ソウルで公演させたのです。

そもそも訪問先の国の人気曲を歌うのは国際友好の証として慣例なのですが、この管弦楽団は、南北文化交流史上初めて韓国のヒットソングを歌うなどとても気を使っていました。

その公演でこの歌も歌われましたが、題名を『白い雪よ 降れ』（흰눈아 내려라・ヒンヌナネリョラ）と改題して、歌詞も「正月の雪よ」→「白い雪よ」に替えて、「太陽の祝福を受けた三千里の山河に/태양의 축복받은 삼천리강산에」→「三千里の山河に 花吹雪になって/삼천리강산에 꽃보라 되어서」と替えて歌いました。

これは、韓国側が「太陽は金日成を指すので北朝鮮を称賛する利敵表現」と解釈することを恐れての改詞だったと推測されます。

また、この歌は、毎年大みそかに平壌の金日成広場でカウントダウンを挟んで開催される「新年慶祝公演」のテーマ曲として定着します。以前からカウントダウンと新年を迎えて祝賀花火の打ち上げイベントはありましたが、臨時舞台を設営して開かれる音楽公演は、2018 年 12 月 31 日大晦日が最初でした。

数万名の観衆が集まり大画面も２面用意されて第１部では万寿台芸術団等の有名芸術団体が金正恩元帥を称賛する歌や民謡 20 曲を歌いました。カウントダウンで新年（2019 年）を迎えて花火が打ち上げられて観客の興奮はピークに達します。第２部は、序曲『正月の雪よ 降れ』が全員で歌われました。児童合唱や他の芸術団体の歌唱（17 曲）が続き、トリはモランボン楽団８名が軍服姿で登場して『正月の雪よ 降れ』など３曲を歌いました。１部・２部で歌われた歌は合計 37 曲でした。

翌、2020 年を迎える公演も同じ形式で第１部 40 曲。カウントダウン後の第２部ではモランボン楽団４名と万寿台の男性歌手４名で『正月の雪よ 降れ』が序曲と終曲を飾り 20 曲を歌い上げました。合計 60 曲に増えて舞台は益々華やかになりました。

しかし、今年（2021 年）の舞台はコロナのためか、ひどく貧弱なものに縮小されました。

公演は2020年12月31日PM11:05からPM11:47までのたった 42 分間の第１部だけで終わり、カウントダウン。歌もたったの 12 曲。お祭り気分に欠かせない民謡は１曲も歌われませんでした。『正月の雪よ 降れ』は、正月を迎える前に歌われました。もっと心配なのは、モランボン楽団からは１名も参加しなかったことです。モランボン楽団の存続が憂慮されています。

今、朝鮮音楽界は、玄松月団長の強い政治力で金正恩党書記の寵愛を受けて専用劇場を持つ三池淵管弦楽団の全盛時代のようです。（終）